

## 地域の皆さまに親しまれる水再生センター

中野水再生センターは、地域に密着した親しまれる水再生センターづくりの一環として、「中野水再生センター施設見学会」などを開催しています。



### 平和の森公園

水処理施設の上部空間の3.22haと周辺地域を合わせた7.0haは、中野区立の防災公園「平和の森公園」になっています。地域の皆さまの憩いの場として利用されています。



### 案内図



- 所在地 〒165-0026 東京都中野区新井3-37-4  
☎ 03-3366-6964（落水水再生センター）
- 交通 西武新宿線「沼袋」駅下車 徒歩7分  
JR中央線「中野」駅下車 徒歩15分



下水道の役割や水環境の大切さを、楽しみながら学べる体験型施設です。

- 開館時間/9:30～16:30（入館は16:00まで）
- 入館無料
- 休館日/月曜日（月曜日が祝休日の場合は開館し、その翌日休館）、年末年始 ※夏休み期間は無休
- 所在地/江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階
- ☎ 03-5564-2458
- ホームページ <https://www.nijinogesuidoukan.jp/>



### 下水道局との関係をおわす 悪質業者にご注意を！

下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。

●東京アメッシュ  
都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。

●下水道アドベンチャー  
下水道についてのクイズに正解して、下水道マイスターを目指そう。

●下水道局ホームページ  
<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>

### 水再生センター見学受付窓口

土曜、日曜、祝日、年末年始を除いて、水再生センターの施設を見学することができます。ご予約・お問い合わせは見学受付窓口までお願いいたします。

電話番号 **03-3241-0944**  
受付時間 **9:00～17:00(平日のみ)**



## 地域で育む水環境

# 中野水再生センター



中野水再生センターの処理区域は、落合処理区（3,506ha）のうち中野区、杉並区の一部です。落合水再生センターの処理能力を補完するものとして建設されました。

処理した水は妙正寺川に放流しています。また、その一部は砂ろ過してセンター内で機械の洗浄・冷却やトイレ用水に使用しています。

発生した汚泥は、東部スラッジプラントへ圧送し、処理しています。

平成29年度に、処理能力を増強するための整備工事を完了し、現在の処理能力は1日当たり10万m<sup>3</sup>（従来は4.6万m<sup>3</sup>）となっています。

### ●処理区域



### ●流入・放流水質

水再生センターからの放流水は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」の水質基準を十分に満たし、魚がすめる水質です。

単位：mg/L

| 項目    | 流入水  | 放流水 | 条例による放流水の水質基準 |
|-------|------|-----|---------------|
| B O D | 150  | 2   | 25以下          |
| C O D | 100  | 8   | —             |
| 全窒素   | 32.3 | 9.4 | 30以下          |
| 全りん   | 3.2  | 0.2 | 3以下           |

令和5年度 24時間試験平均値

※BOD、CODは、数値が高いほど水が汚れていることを示します。BODは、微生物が有機物を分解するのに使う酸素量、CODは酸化剤で有機物を分解して消費する酸素量で測ります。放流水の水質基準は、河川はBOD、海域はCODにより定められています。全窒素、全りんは、赤潮の発生などと深くかかわっています。



- ・下水を集めて流す**下水道管**
- ・下水道管が深くなりすぎないように途中で下水をくみ上げる**ポンプ所**
- ・下水を処理してきれいな水によみがえらせる**水再生センター**

どの施設も正しく働くように日々点検、清掃、補修などを行っています。



**濃縮機** 薬品を加え凝集させた汚泥をベルトに乗せ、重力ろ過によって水分を分離します。

**脱水機** 濃縮汚泥を脱水機で脱水します。

**焼却炉** 脱水した汚泥を焼却して灰にします。

※ 汚泥処理施設のない水再生センターは、汚泥処理施設のある水再生センターに汚泥を送って処理します。



家庭や工場から排出された汚水を処理して、  
快適な生活環境を確保します。

道路や宅地に降った雨水  
を速やかに排除して、  
浸水から街を守ります。

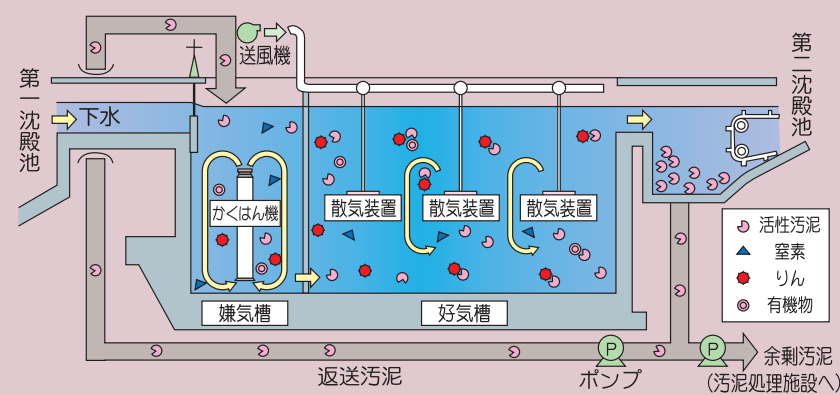
下水を処理し、きれいに  
した水を川や海に放流す  
ることにより、その水質を  
改善し、保全します。

再生水や下水熱など下水道が持つ  
資源・エネルギーの有効利用や下水  
道施設の上部空間の利用などにより、  
良好な都市環境を創出するという新  
しい役割を担っています。

## ● 中野水再生センターの特色

## 水処理施設(AO法)

りんは東京湾の富栄養化の一因になっています。  
中野水再生センターでは、活性汚泥法の中でもりんをより多く取り除くことができるAO法(嫌気-好気法)という運転方法で処理を行っています。



下水と活性汚泥を、空気を吹き込まずに混ぜ合わせます。活性汚泥中の微生物は酸素がないので、体内に貯えたりんを水中に放出します。

空気を十分に吹き込むことで、有機物は微生物に分解され、窒素は酸素と結びつきます。また、嫌気槽で放出された量以上のりんが微生物に吸収されます。

## 周辺の歴史

中野水再生センター周辺は、昔から住みやすい所ようです。中野水再生センターの建設予定地で「新井三丁目遺跡」が発見されたため、昭和60年から約3年を費やし遺跡発掘調査が行われました。

この遺跡調査により、多数の土器や竪穴式住居の集落跡などが発掘されました。これらは、約1,700年前の弥生時代後期のものであると推定されています。

水再生センターの敷地は、明治43年に設置され、昭和の歴史を刻んだ思想犯や政治犯が収監されていた中野刑務所用地（旧豊多摩刑務所）として使用されていました。その正門は文化財として、隣接する旧法務省矯正管区敷地内に保存されています。



▲旧豊多摩刑務所正門

## 光ファイバー通信網による遠方監視制御

下水道管の中を通した光ファイバー通信網を利用して、約3km離れた落合水再生センターから水処理施設の運転管理を行っています。

## 下水処理水を有効利用した熱供給

中野水再生センターの処理水を中野区立総合体育館に送水し、処理水の有する熱を施設の冷暖房用の熱源として有効利用しています。

